

お知らせ

(送配電カンパニー関係)

2018年11月8日
東北電力株式会社

今冬の需給見通しについて

今冬の電力需給対策については、電力広域的運営推進機関による需給検証を経て、本日、経済産業省の電力・ガス基本政策小委員会において取りまとめられました。

この取りまとめの中で、当社エリア（東北6県と新潟県）の今冬の需給見通しについては、至近10年で最も厳寒となった年（12月は2012年度、1、2月は2017年度、3月は2013年度）と同程度の気象条件となった場合であっても、12月は9.1%、1月は4.6%、2月は4.3%、3月は10.3%の予備率を確保できる見通しとなっております。

また、当社エリアの今冬の電力需給は、エリア間の市場取引の活用（連系線の活用）等により、電力の安定供給に最低限必要とされる予備率3%を確保できる見通しであり、当社エリアについては同省からの節電要請はなされておられません。

当社といたしましては、震災以降、高稼働を続けている火力発電所の予期せぬトラブルによる停止や、厳寒による電力需要の急激な増加など、不測の事態が発生するリスクはあるものと考えております。引き続き緊張感を持って設備の運転・保守にあたり、安定供給に万全を期してまいります。

以上

【添付資料】

(参考) 当社エリアにおける今冬の需給見通しについて